

<欣喜雀躍：きんきじゃくやく>薄暗い雑木林の奥でも下生えがすっかり緑になってきました。その緑の中から蛍光を発しているような瑠璃色が目に飛び込んできます。花の大きさが2cmにも満たないホタルカズラの小群落です。これを見つけたときの昂ぶりが“欣喜雀躍”、ただ「雀の跳ね躍るように大喜びする」わけにもいかず内心の喜びを抑えてそっと眺めるのみです。



<ホタルカズラ>

<日差しの加減>雑木林の中でもかなりの光が根元まで届くところではクサイチゴの白い大きめの花があちこちで咲いています。今ではやや盛りが過ぎて花弁を落としぼさぼさの蕊（しべ）だけを残したものも目に付きますが、これは真っ赤な甘い実になる夏を期待させます。ところで木なのに“クサ”とは何故でしょう。



<クサイチゴ>

雑木林の入り口のもっと日の差すところには沢山のナツトウダイとナルコユリが花を付けています。ナツトウダイの花は不思議な形をしていて植物図鑑の説明を読んでも想像できません。ただ、その形を“灯明を灯す台”に見立てて燈台の名が付いたとのこと。かなり毒性の強い植物ですが“甘遂（かんすい）”という漢方薬になります。ナルコユリは花の付き方から“鳴子”を想うかべたようです。この植物の根っこを干したものは“黄精”という滋養強壯の生薬になります。



<ナツトウダイ>

雑木林から出て日の光を一杯に浴びるところではキジムシロの葉の深い緑と花の黄色が目につきます。まさにキジ（雉）が座って一休みできそうなほど地を這うように大きく広がっています。



<ナルコユリ>

<水温む>スズメについて SHC では馴染みのある小鳥がハクセキレイです。真冬でも目の前を滑るように歩く元気な姿をよく目にしました。暖かくなり水が温むとハクセキレイも水浴びをしたくなるのです。写真の水場では他の小



<キジムシロ>



<ハクセキレイの水浴び>

鳥たちも水浴びしているところを見かけます。一方、舗装されていない道路の水溜りからはツバメが巣作りのため泥を採って運んでいます。無事に雛が誕生することを願いましょう。

(文と写真：松本正勝)